

# 御宿台

Onjukudai-ku News

2004 秋号

No. 18

区運営委員会編集・平成16年10月1日発行



## 中央花壇

最近復活した噴水をバックに、作業をしているのは「自然に親しむ会」の花好きグループのみなさんです。

写真と文：矢作 舜二 (238-12)

平成2年10月にオープンして早や14年、ラビドール御宿で生活されている入居者・職員が何かとお世話になっています。当初はラビドール御宿ご入居者だけの親交でしたが、今日では御宿台区のイベントや趣味・文化活動等での交流も多く見受けられるようになりました。

一昨年10月の行方不明の出来事では、無事に帰還されましたが、日曜日早朝からの区民挙げての捜索ご協力には感謝、感謝と同時に深い感動を受けました。我々は区民の皆様と共同体であり、微力ですが御宿台のより良い生活環境作りにも参画していかなくてはと、改めて強く思っています。ラビドールから提供できることには限りがありますが、ご入居者の声として、御宿台の素敵な町を更に魅力的にと願って一言申し上げさせていただきます。シンプルな表現ですが…

・東屋など屋根のある休息所があったらありがたい。・きれいなトイレが何か所かあったら。・しゃれた喫茶店があったら良いな。・少し高級なスーパーがあったら楽しみが増えます。

ラビドール御宿のご入居者は大半が都心部から「温暖で豊かな

自然環境」を求めてお越しになっています。外房ならではの澄んだ空気の中で、朝に夕に御宿台境界の散策を楽しんでいる姿はこの地に住んでいればこそその快適さでありましょう。残念ながら体調の優れないときや暑い時期に、ちょっと休息したい、トイレがあったら、と散歩を断念されることもあるようです。たぶん、御宿台の皆様も同様だと存じます。また、御宿台という洒落た町にはちょっと高級な「竹むら・宗苑」が高人気であるように他業種の洒落たお店も誘致していただけたらと思います。

16年4月から「維持管理費」が下方改訂されたことは喜ばしいことですが、高齢者に優しい町づくりが展開されているなかで、高齢者の極めて多い御宿町の御宿台区がいつまでも魅力ある御宿台であり続けるために、環境向上にも目を向けていただきたいと熱望します。環境向上は区民の皆様にとっても将来に向って更に快適に生活できると同時に資産価値の維持向上に繋がるのではないのでしょうか。

ラビドール支配人 松尾 知典(御宿台132)

# 御宿台区の動き

区運営委員会から

運営委員会では新年度以降テーマ別に分科会を設置して、個別テーマに取り組んでいることは既報の通りです。案件によっては西武のみならず町とも協議・折衝を重ねながら適正な予算措置を講じることになります。現在、今年度の計画に沿って次のような活動をおこなっています。

## 総合的な住環境の改善策

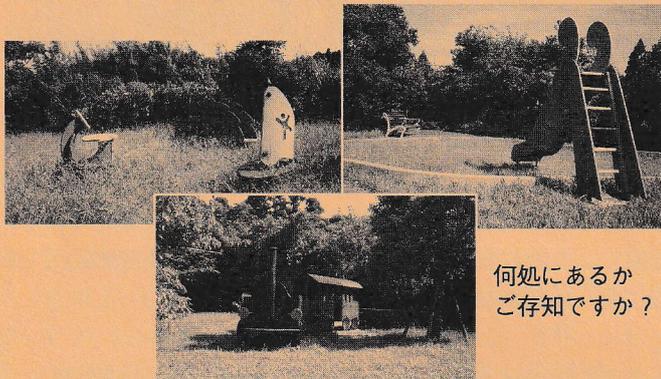
御宿台の緑の環境の維持改善を目的に、病気に罹っているヤシの木群の再生・移植、植栽の伐採・剪定、除草、中央公園を含む散歩コースでの木陰作りなどを検討中。また、週日ボヤが発生した美化ステーション建物の防火対応策、街路灯設備の増強、緑道U字溝の蓋かけ工事などについても検討中です。緊急度、優先度を勘案しながら、限られた財源の有効活用をどのようにして図るかがカギとなります。

## より効果的な情報発信のために掲示板の活用を

運営委員会の活動や進捗状況などを、より具体的に、より高い頻度でお伝えするために、専用の掲示板を設置することを検討しています。設置場所としては、最も人目に触れ易いことから各美化ステーションを予定しています。委員会からの連絡事項や急ぎのお知らせにも掲示板の活用が期待できます。

## 児童遊具の有効活用

漸増しつつある子供たちが安全で楽しく遊べるような環境作りも必要であるとの判断から、現在の児童公園遊具（滑り台、船形・汽車形遊具など）のあり方を検討しています。現況では方々に散在しているこれらの遊具を、大人も一緒に集えるような安全で開放的な地区に移動すること、破損した遊具の補修、取替え・撤去などが懸案事項です。



何処にあるか  
ご存知ですか？

## 三二情報

8月31日現在

### 御宿台開発状況

売却済分譲地：1,133区画 建築中：16戸  
建築戸数：728戸 定住届出：336戸

### 乗合バスの利用

6月/397人 7月/525人 8月/658人

秋季病害虫消毒：211戸（運営委員会斡旋）

## お知らせ

守ろう、  
ゴミ捨てルールとマナー

繰り返し言われてきたことですが、生活ゴミ問題は日常生活で最大課題の一つです。正しい分別は言うまでもありません。ルール違反の粗大ゴミの放置は住環境の美観を損ねるだけではなく、その処分にも自己負担としての費用がかかることを自覚する必要があります。

ルールさえ守ればいつでもゴミが捨てられるのが御宿台の「美化ステーション」の利点です。それだからこそ、ルールとマナーを守って利用しようではありませんか。

正しい分別を！

粗大ゴミ放置厳禁！です。



## 運営委員の交代

運営委員会の水本委員（広報担当）は、転居のため9月末をもって辞任しました。後任には野口正義さん（214-03）が推挙され10月より委員として引継ぐことになりました。

## 随想

～上海雑感～

長女夫婦が上海におり、達てのことで5月11日より16日間妻と三女と初めて中国に行くことになった。新興中国は流石活気に溢れ活力に充ちていた。

娘のマンションは38階建ての3階。小生歩くのが数年来苦手で留守番が多く、朝な夕なベランダで一人煙草をふかす。庭の先の生垣に沿い、古いフランス風二階建ての西洋建築が4棟並んでいる。娘に聞くと150年前の租界時代の建物という。現在分画して中国人が各棟4世帯程住んでいて、マントルピースも4個所ほどある。

毎日見ている中……15世紀より始まる大航海時代、16世紀から19世紀にかけての西アフリカでの奴隷売買。19世紀阿片戦争を起し葡国・英国は厦門・香港を半植民地化、19世紀後半上海を奪い租界化。20世紀後半カナダ、オーストラリア、ニュージーランド三大陸を植民地のまま厚顔無比に英国領とする。等々すべて当時西欧列強の強引な白人優位主義、一方的かつ非人道的行為が彷彿と連想されてならない。現在のブッシュ父子の行為も全く同断。第二次世界大戦後徐々にアジア、中南米は向上著しく、アフリカ（仏国植民地政策最低）を除き隔世の感を覚える……

お陰様で上海帰りのリルは恙なく帰ってきた。帰宅すると愛犬は以前にもまして元気。ボギーの会の会員による毎日たっぷりの散歩のお陰と思う。この会がなかったら、これだけの長期旅行はとても不可能、心より有難く思う昨今である。

(223-05 内藤 治)

(注)ボギーの会：「ボランティアグループ・御宿台サークルCoCo」の「犬の散歩応援グループ」の愛称

## 『御宿移住今昔』

その昔、この地の人々は、はるか南の国から黒潮と西風によって海岸伝いに北上し、暖流が列島から離れる房総に住み着いたという。永い年月は美しい景観とともに、海人（あまびと）独特の人情風俗を醸成した。御宿の海辺のひとたちも純朴そのものでみんな働き者ばかりだったようだ。こうした御宿の景観、風俗を伝え聞いた都のひとたちは、競って当地を訪れた。青い海や白い砂浜に魅せられて御宿に移り住んだひとも多いという。なかでも文人、画家たちはその作品に御宿海岸をとりあげ多くの傑作を残している。画家では浅井忠、小山正太郎、山本鼎、坂本繁二郎、藤田嗣治、野口弥太郎、荻須高德、小山敬三、高山辰雄、谷内六郎ほか多くの画人がたびたび御宿を訪れた。阿部金剛や加藤まさをは住まいまで御宿に移している。

いっぽう文人たちの残した著作を見てみると、彼らのこの地への魅了のされ方が具体的に伝わってきておもしろい。平塚らいてうは伊藤野枝に宛てた手紙のなかで、「このの浜は思ったよりも実にいい浜でした。第一浜が広くて長い。そして砂が白い。その上大きな砂丘が波線をなして砂丘から砂丘へ続く」と御宿の砂浜の美しさ、静かな波の音、人情風俗などを克明に書いている。「人生劇場」を御宿滞在中に執筆したと伝えられる尾崎士郎は、「私が千葉県御宿海岸で過ごした生活は、将来の作家生活に、新しい方向を定める重大な機縁となった」と「自伝随筆集小説四十六年」の中で言っている。三宅艶子は随筆「私の御宿」で「私は日本の中でも、よその国を旅行しても、いつも『御宿の方がいい』」と思ってしまう。エジプトでもインドでもバリ島でもフィリピンでも、いろんな土地で海のいい景色を見ると、すぐ御宿とくらべ、御宿に似ているとなつてかしくなり、挙句の果てに『御宿の方がいい』という結論になる」と御宿の印象を豊かな文章で描いている。

昭和、平成のいま、御宿の景観は変貌しつつあり、人情も移ろい、訪れる人々も様変わりしてきている。昔の都びと同じように、この地に魅力を感じて移り住み、御宿台という地域を形成しつつある私たちは後世に何を残すのであろうか。

月の沙漠記念館 館長  
養老 正也 (217-04)



## ● 御宿暮らしの楽しみ

御宿台に居を構えたのは15年前。これまでは主として週末や休日を利用する生活でした。昨年からは定住して約1年になります。この1年、自然とのふれ合いの中で新しい楽しみを味わうことができました。

5月の末に源氏堂の里大原山田部落に出かけてみました。そこでは、まさに小学校時代の光景に出会うことができました。ところが、ご近所の方から御宿にも蛍の名所があることをうかがいました。6月の第一土曜日の夜、雨模様の天候でした。その見事さは何と表現してよいのか。数千匹(?)が光り、消え、光りしていました。皆様も来年は是非おでかけください。

もうひとつ、田舎暮らしの楽しみの一つは野菜作りではないでしょうか。これも定住の理由でした。家内の激励と皮肉の中で春から始めました。ほうれん草、春菊など無難にこなし、夏野菜もトマト、茄子と成功しました。子供の頃の食糧難時代、腹一杯食べたかった思い出もあり、また、最近のものは本当に美味しくなりましたので自作に力が入ります。(103-06 中嶋 平満)

## 井戸端

### 京都観光の穴場

京都の四季にはそれぞれの趣がある。とりわけ秋の紅葉は見逃せない。ただ残念なのは、いつ行っても観光客が多すぎてゆっくり楽しむことができないこと。とりわけ一般の名所旧跡、神社仏閣は修学旅行の学生達で溢れかえっている。そんな中で、自分達だけで、しかも無料で解説付き、心行くまで楽しめるところがあるとしたら。それは、桂離宮、修学院離宮、京都御所、仙洞御所。手間はかからない。3ヶ月前からの申し込みが可能。経験では大抵希望日に見学ができる。申込みは往復ハガキでよいが、4月からはインターネットでも可能になった。詳しくは宮内庁ホームページ (<http://www.kunaicho.go.jp>) から「参観案内」を参照されたい。(313-02 水本 清司)

### 会員の投稿を歓迎します

「井戸端」、「ちょっと一言」欄などへ、役に立つ耳寄り情報や建設的なご意見などをお寄せください。それぞれ450字以内でお願いします。また、第1面の写真、詩歌欄「詠むところ」、最終頁「やまぼうし」欄への投稿も歓迎します。紙面の都合あるいは内容によって、掲載の採否、掲載時期等については編集委員にご一任願います。

最高級そばと地酒の店

そば処

竹むら

☎68-8888

くつろぎの館  
創作料理

宗苑

☎68-8887

海

御菓子司

海月堂

製造発売元

御宿町須賀572

☎68-2345

一人前より

出前迅速

うぶき  
鶏丸

高山田 高校前通

☎68-4867

ペンション・  
中華レストラン

チャイナ

出前 承ります!!

☎68-2920  
ニクニク

本格手打の店  
白磁  
そば  
七

上布施

☎68-5220

## ◆ 御宿ライフ

余暇を有意義に過せる地・温暖な地を探し御宿台へ、早や3年余。冬の放射冷却と強風は想定外。しかしそうは言っても現実には、春は山菜取りに野山を巡り、暑い夏は海岸に目の保養に行き、秋は味覚を満腹し、冬は太陽がいっぱいの四季の散歩を楽しんでいます。夫婦二人ですが週末は各々の趣味に熱中し、平日はわずかな菜園の土と芝の管理は当方、相棒は花と野菜の種まき、育成、収穫を、また釣果を求め海へ、そして町の教室やボランティアに参加し、ようやく御宿のサイクルに馴染み、暮らしも身体も御宿スローライフを送る日々です。ここ最近の大事は妻の車の免許取得でした。新米運転手の教育は冷汗の連続でしたが何とか様になり、買物はひとりで行けるようになっています。課題のない人生の出発ですが、精一杯生きている証拠を残しながら、ここ御宿から発信していきたいものです。「御宿バンザイ」を。

(112-09 平井 英夫)

## ◆ 地元交流事始め

平成元年1月19日、地縁・血縁の無い当地に調布から移住。御宿台第1号であった。向こう三軒両隣は3月末引渡しとかで内装・外構工事の真最中。夜、職人たちが引揚げると我が家はさながら荒野の中の一軒家の趣。

当時最も困惑したのは何かをしたいと思っても適切な情報の入手方法が無いこと。幸い、銀行の支店長の紹介で町のゴルフ会に入会、家内はゴルフ会々長の紹介で公民館の自彊術教室に参加、車で送迎していると「アンタもやりなさい」とメンバーの老婦人。また、当時案内所勤務の大原在住の方の紹介で大原台グリーンタウンコンペの会にも参加。家内はその後公民館のフォークダンスにも。下の豆腐屋の元気なお母ちゃんとも仲良くなり、いろいろな会と人を通じて、言葉は乱暴だが人の良い親切な地元の人たちとの交流が飛躍的に増えて当初の不安も解消された次第。

(102-16 平井 亨一)

やまぼうし

区民の談話サロン

## ◆ あこがれの御宿台に住んで

一体どんな方々が住んでいるのだろう…。浜の民宿「太陽」の角を曲がり、坂道を上って実谷方面へ向かう途中、御宿の町並みとは違う風景を見て、いつもそう思っていた。

家庭の事情により家を探すことになったが、迷わず御宿台に決めた。昨年11月に土地を購入し、年明けから家を建て始め、5月末に越してきた。仕事をしている関係で、家の整理もままならないが、土・日の夕方には自分の時間として散歩を楽しむようにしている。散歩の途中に出会い、気軽に挨拶をしてくださる方、サルスベリの花や野山の緑、遠く海を望む見事な風景、そのどれもが私の心を癒してくれる。

住んでみて気がついた風の強さも、地域の皆さんの温かな心にはかなわない。一日も早く御宿台の住人になりきたい。

(106-5 大谷 幸子)

## ◆ 御宿台に住み始めて

老後を楽しむ土地を求めて南房総を探している内、ヒョイと迷い込んだ御宿台の家並みに魅せられ、昨年末、転居してきました。住み始めて直ぐ、強烈な寒風と大雨に見舞われ後悔しましたが、周りの方々の逞しさに刺激され、妻が菜園、娘が花壇、私が植木や造作物を分担し、どうか求めていた基盤に近づきつつあります。中で変り種を一つ、水稻です。プランターで粳から古代黒米とコシヒカリを作っています。その内、趣味のスポーツに加え、種々のサークルに参加し老後を楽しみたいと思っております。

(407-03 前田 義昭)



## 編集 後記

親睦会が発展して御宿台区となったのが4年半前の平成12年3月。本紙「ミニ情報」によれば、現在の建築戸数は728戸(当時581戸)、定住届出数336戸(同240戸)。定住者の割合が漸増し、住民同士の交流も一層盛んになり、成熟したコミュニティが形成されつつあります。

運営委員会は、皆様のご意見に耳を傾けながら、御宿台の住環境の改善に日々努力を重ねています。この面では質的向上のみならずその経済性にも大きな関心を払っています。広報担当として4年半、本紙編集に携わって参りましたが、本号をもってその任を辞することとなりました。これまでの皆様方のご支援に對し心より感謝申し上げます。(水本)

## 区運営委員会委員

|       |       |        |         |
|-------|-------|--------|---------|
| 鈴木 正也 | 会長    | 210-13 | 68-6961 |
| 瀧口 義雄 | 渉外    | 103-09 | 68-3661 |
| 塩入 健次 | 環境・衛生 | 109-02 | 68-2789 |
| 加藤 一輝 | 環境・衛生 | 211-09 | 68-5755 |
| 立石 興世 | 総務    | 214-01 | 68-7248 |
| 野口 正義 | 広報・記録 | 214-03 | 60-2888 |
| 宮田 成隆 | 会計    | 230-07 | 68-7822 |
| 小林 英輔 | 渉外    | 319-10 | 68-5482 |
| 滝川 泰  | 環境・衛生 | 333-05 | 68-5540 |
| 佐伯 光一 | 環境・衛生 | 405-12 | 68-6360 |